

中学校国語の分析結果

〈中学校国語〉

○良好と考えられること

- ・聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめること
(インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く問題(記述式))
- ・事象や行為、心情を表す語句について理解すること
(「落胆する」の意味として適切なものを選択する問題)
- ・歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと
(歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題)

☆課題と考えられることと今後に向けた改善のポイント

- ◇観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えること
(二つの文章に共通する表現の効果を説明したものとして適切なものを選択する問題)
 - ・表現の仕方に着目しながら一つの文章を読み、文章において見られた表現の特徴や工夫が他の文章でも見られるかを確かめる活動を行う。さらに、二つの文章を同一の観点で比較して特徴や工夫を見だし、その効果を考えたりする活動を設定する。
- ◇具体と抽象など情報と情報の関係について理解すること
(『判じ絵』とは何か)と見出しを付けた部分について、内容のまとまりで文章が二つに分かれる箇所を選択し、後半のまとまりに付ける見出しを書く問題(短答式)
 - ・段落相互の関係を具体と抽象の関係という観点で見直し、文章の構成や展開を検討したり、内容で分けた文章のまとまりに小見出しを付けたりする活動を設定する。
- ◇自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くこと
(『判じ絵』の解説の面白さ)と見出しを付けた部分に具体例として示す「判じ絵」を選択し、その解説の仕方を書く問題(記述式)
 - ・読み手に伝えたい自分の考えを明らかにした上で、複数の事例の中からどの事例を自分の考えを支える根拠として取り上げるのかを検討したり、根拠をどのように文章中に記述すると明確になるのかを吟味したりする活動を設定する。